

『納税で豊かな暮らしへ』

宮代町立前原中学校 2年 飯塚 莉愛

私たちは「税」がとても身近な存在となっています。それは税を納めていたり、税に助けられていたりするからと言えるでしょう、

素朴な疑問として、人々はなぜ納税をするのかと考えたことがある人も多いと思います。人々がなぜ納税をするのか、その1番の理由としては「豊かな暮らし」のためであると思います。

「税のない社会」それは一見、人々の負担が減り、余裕のある暮らしとなると考える人がいるかもしれません。しかし、私はそう思いません。むしろ、豊かな暮らしとはかけはなれた社会になってしまうと私は思います。例えば教育の面でも納税に支えられています。私自身、助けられていると感じた場面が多くあります。整った校舎や、体育館やプール等の教育設備、無償配布される教科書などが挙げられます。みんなが平等に有意義な教育を受けられるありがたさを感じるとともに、納税の重要性や意義を感じられました。社会は教育の上に成り立っているともいえると思います。だからこそ、納税の重要性がうきあがってきます。わたしたちが納めた税金が1番多く使われているのは社会保障の面です。社会保障の面では、若い人からお年寄りまで、大変つながりの深い部分だと思います。私たちが医療を受けるときの費用の援助金や、医療にかかったお金の一部も税金です。介護サービスの利用でかかる費用の一部、老後の豊かな暮らしを支える年金の一部も税金です。豊かな子育てを支える、保育所や認定こども園などを造る費用の一部も税金です。医療サービスや認定こども園などの施設に支えられながら育ち、介護サービスや年金に支えられながら過ごしていくことになります。つまり納税は今も未来も生活を豊かにしていくものだと思います。私自身たくさんの社会保障に支えられて生きていきました。つまり納税がなかったら今の生活がない、と言っても過言ではないと私は考えています。一人一人の人生は一人一人の納税によって支えられている、という風に私は考えます。他にも多くの税金の使い道を私は見つけました。まちを守る警察や消防、災害の復旧のための活動、便利な交通のための道路の整備、ごみ収集、処理、環境保護活動などに税金は使われています。税金があるから、私たちの暮らしが安全で豊かになるのだと私は思いました。

私たちは、納税を行い、納税に支えられ、生きています。納税があるからこそその豊かな生活なのです。だからこそ、一人一人が納税の重要性についてよく理解し、一人一人が正しく納税していくことが必要だと思います。私が将来大人になり、消費税以外も納めるようになったときには、きちんと納めようと思います。そして、たくさんの人がそれを心がけ、納税で豊かな暮らしをつくっていききたいです。